

## 2015年度事業報告

### 1. 公益目的事業

#### (1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

##### ■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

日本の文化紹介プログラムを実施した。留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的としているが、寮生活をしながら日本の伝統行事を知る機会を提供する。友愛学舎の舎生が中心となり企画運営した。このほかにもセミナーハウスロビーに雛段を飾り付けた。

6月19日	歌舞伎鑑賞@国立劇場	留学生・友愛学舎生・日本語ボランティアの会 学習者 33名
11月29日	紅葉狩り@高尾山	留学生・友愛学舎生 計19名
1月24日	お餅つき	留学生・友愛学舎生ほか計40名
2月4日	豆まき	留学生・友愛学舎生 計4名

##### ■国際理解講座 Global Understanding

月2回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学び、講師として早大YMCAの石戸充氏が指導した。沖縄フィールドワークの事前学習を行った。5月4日から5月8日まで沖縄を訪問、米軍基地、沖縄戦の遺跡、米軍基地反対運動の現場等を巡り、沖縄の現状について理解を深めた。学生は友愛学舎3名、信愛学舎4名、留学生4名、大学生2名の計13名、ガイドや引率スタッフ4名の計17名が参加した。7月8日に報告会を開催し、19名が参加した。

	5月4日(月)	5月5日(火)	5月6日(水)	5月7日(木)	5月8日(金)
午前	東京発	南部戦跡を訪問	アメリカンビレッジ、ガマ訪問	高江 訪問	古宇利島で海水浴
午後	戦争体験者・金城重明牧師の証言	普天間基地展望、沖縄大へり墜落事件現地研修	辺野古 訪問	人形劇鑑賞 水族館入館	国際通りにて自由行動
夕	沖縄キリスト教学院大学生と交流会	宜野湾 泊	名護 泊	名護 泊	沖縄発

##### ■「マイノリティ問題と宣教」国際会議ユースプログラム (協力)

11月15日から17日に国際会議青年プログラムへ友愛学舎から2名が参加した。全体では国

内 36 名、海外 12 名(韓国、カナダ、ドイツ、アメリカ)の計 48 名の青年が参加した。国際会議はヘイトスピーチの問題をテーマにしていたため、ユースプログラムは民族差別や部落差別を学ぶフィールドワークを実施、奉仕園スタッフ 2 名が企画・実行委員として運営に携わった。

主催：在日大韓基督教会

### ■東京食肉市場見学

2 月 25 日、26 日に東京都中央卸売市場食肉市場の見学に行った。1 日目は事前学習、2 日目は場内見学。参加者 4 名、うち友愛学舎生 1 名。と場は私たちの日常生活に必要な食べ物や革製品、油脂製品を作り出す重要な工場であることを学んだ。

## (2)国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

### ■日本語ボランティアの会

日本に暮らす外国人に日本語を教え、生活上のサポートをおこなうとともに地域との交流をはかる。毎年『日本語ボランティア養成講座』の修了生がボランティアの会の活動に多く加わっている。特別活動として課外授業、新年会、学習者発表会、講師研修会など随時行った。また、会報誌「こんにちは日本語」も年 2 回のペースで発行している。

2015 年度登録ボランティア数：63 名(前年度 66 名)

参加のべ人数：ボランティア 2,461 名(前年度 2,310 名)、学習者 4,164 名(前年度 3,889 名)

### ■災害支援・被災者支援ボランティア活動

#### ① 富士登山プロジェクト

東山荘 Y M C A をベースに富士登山を開催。奉仕園留学生と福島県から首都圏に避難している母親たちが設立した N P O 「ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト」の子どもと保護者が登山を楽しみながら国際交流もおこなう。

期間：8 月 1 日 - 3 日の 2 泊 3 日(うち 1 泊は山小屋)

参加者：奉仕園留学生 14 名、子ども 5 名、保護者 4 名、R A 1 名、スタッフ 1 名計 25 名

協力：日本 Y M C A 同盟東山荘、N P O 「ココロとカラダを育てるハッピープロジェクト」

#### ② ネパール震災支援学生プロジェクト(協力)

友愛学舎・信愛学舎の学生が中心となり、ネパール震災後に支援活動を開始した。

(1)8 月から毎週土日に園内でカフェを開き、手作りのクッキーやアイスチャイなどを販売

して義捐金 20 万円を集める。

(2) 8 月 24 日から 9 月 2 日まで、ネパールへ訪問し義援金を渡す。

(3) 2016 年 2 月 15 日から 21 日まで、ネパールにてワークキャンプを開催(参加者 7 名)。ワークのほか教会・NGO 団体への義捐金贈呈、小学校での活動などを実施。

現地協力団体 : Believers Church

Sundar Dhoka Saathi Sewa (SDSS : 貧しい人、病人、障がい者を守るために活動するキリスト教主義の NGO 団体)

〈スケジュール〉

2/15 ネパール到着

2/16 ルブ村で瓦礫処理お手伝い

2/17 Jorpati English School にて地震対策指導とレクリエーション

2/18 SDSS の皆様とペーパービーズ作り

2/19 カトマンズ市内観光

2/20 スワコット郡にある Believers Church 所属教会にて礼拝参加

2/21 ネパール出国

(4) 12 月 1 日から 3 日と 3 月 14 日から 18 日までギャラリーにて連川裕隆さん(熊本大学生)の写真展を開催。

### ③ 常総市水害被災者支援ボランティア活動

9 月 18 日、鬼怒川決壊によるボランティア活動に友愛学舎生 1 名が参加した。日本キリスト教団水海道教会ボランティアセンターにて活動。

### ④ 放射線測定器ビーガイギー・ナノ組み立てワークショップ(協力)

10 月 11 日から 12 日まで、日本キリスト教団東京教区北支区青年部主催のワークショップの開催を協力のした。参加者 18 名で 4 台の放射線測定器ビーガイギー・ナノを組み立てた。

### ■野宿者支援給食活動

渋谷での野宿者支援給食活動に参加し、貧困や生存権の問題を身近に感じた。日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、日本キリスト教団早稲田教会の青年有志もボランティアで参加している。月 2 回の活動で準備した食数は 3,927 食、食事を渡した方々のはのべ 3,041 人、食事準備のボランティア数のべ 268 人、配食時のボランティア数のべ 357 人となった。今年も青山学院女子短期大学よりホッカイロの物品支援(2,160 枚)、保存食の物品支援はセカンドハーベストジャパンを中心に、玉川聖学院中等部・高等部、聖望学園中学校・高等学

校からいただいた。

共催：日本福音ルーテル本郷教会／本郷学生センター、日本キリスト教団早稲田教会

### ■早稲田ネットワーク外国人無料生活相談会

外国人への生活・労働・教育の分野で相談スキルを持つ個人がボランティアとして集まり「早稲田ネットワーク」を組織、外国人の相談業務に当たった。来会者のべ 25 名(ミャンマー、フィリピンなどアジア圏)。来会者の在留資格は様々で、難民申請を経過しての特定活動あるいはその後の定住、留学、技能実習など。就労先は清掃、飲食、製造、また子育て中の方々からの相談が多数を占めた。リピーターが増えて始めており、相談会に対する評価が上がれば、今後も来会者が増える見込みである。

開催日：毎月第2日曜日

主催：早稲田ネットワーク

### ■外国人支援者のためのマイナンバー講座

11月13日、在日外国人の状況に詳しい丸山由紀弁護士を招いてマイナンバー制度に関する学習会を開催した。NGO関係者や日本語ボランティアの会メンバー、計12名が参加した。

主催：早稲田ネットワーク

## (3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

---

### ■アジア語学講座

アジア諸地域の言語を学ぶことを通じ、文化や習慣、社会への理解を深めることを目的に、各言語講座及び特別講座を実施した。

#### ① 通常クラス

前期：受講者数合計 55 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
ベンガル語	入門 5	初級 2 3	中級 1 4	上級 4	26
			中級 2 5		
			中級 3 5		
ヒンディー語	入門 13	初級 2 4			17
ミャンマー語	入門 9		中級 3		12

後期：受講者数合計 37 名

クラス	入門	初級	中級	上級	合計
ベンガル語	入門 8	初級 1 4	中級 1 3 中級 3 6	上級 4	25
ヒンディー語		初級 1 6 初級 3 3			9
ミャンマー語			中級 3		3

講師：ベンガル語：アザド ムンシ、モハメド カムルズ・ザマン、ムンシ スルタナ

ヒンディー語：雪下 洋一

ミャンマー語：チー ハン、イン イン メイ

## ② 日→韓訳出にもチャレンジ！はじめての韓国語通訳 2 日間レッスン

韓国語ネイティブのプロ通訳者による韓国語への訳出に重きをおいた集中講座(5 時間×2 日間)を開講。

開講日：2015 年 7 月 19 日 - 20 日

受講者数：5 名、講師：ペ スンジュ

## ③ 実践力をつけよう！はじめての韓国語通訳 2 日間レッスン

プロ通訳者による通訳メソッドを用いた上級者対象の集中講座(5 時間×2 日間)を開講。

開講日：2016 年 3 月 12 日 - 13 日

受講者数：10 名

講師：矢野 百合子(韓国語通訳者)

## ④ アジアの文化を体験しよう

アジアの食文化の体験や、講座の垣根を超えた交流の場として持ち寄りの食事会アジアンポットラックパーティーを開催。

実施：2016 年 2 月 29 日

参加者数：27 名

## ■英語講座

### ① 入門クラス

ネイティブ講師と英語でコミュニケーションをとることを中心に、楽しみながら英語を身につけるクラス。期末にはティーブレイクの時間を設け、クラス内の交流を図った。

講師：リサ西村、ジョスリン・オ・セレロ

受講者数：前期 10 名、後期 7 名

## ② What 's Happening in the World?

時事的トピックスを英語で話し合い理解を深めると共に英語のブラッシュアップをするクラス。

講師：ジェンズ・ウィルキンソン

受講者数：前期 10 名、後期 8 名

## ■日本語ボランティア養成講座

地域に住む外国人などにボランティアで日本語を教えるための学習法を学ぶ。受講対象はおもに中高年の、比較的時間に余裕があり社会貢献をしたいと思っている方々を想定している。奉仕園の『日本語ボランティア養成講座』は1年間通して学べる講座として、4月に初級Ⅰ、10月に初級Ⅱ、2月に中上級を開講した。修了生の多くが日本語ボランティアの活動を始めている。

講師：数土容子(武蔵大学講師)

開講日と受講者数：

クラス	開講日	受講者数
初級Ⅰ	4月15日－9月2日 全16回	18
初級Ⅱ	9月30日－12月16日 全12回	18
中上級	2016年2月3日－2月24日 全4回	15

## ■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

スコットホールの空き時間を利用してゴスペル講座を開講している。奉仕園に集い、仲間ができて、歌う楽しさを味わうことで元気になっていくことを目指している。クリスマス発表会では全曲持ち歌で90分近い内容となった。

開講日と受講者数：

クラス	開講日	受講者数
シーズン①	4月23日－6月18日 全7回	16名
シーズン②	7月9日－9月17日 全7回	15名
シーズン③	10月8日－12月10日 全7回	15名
シーズン④	2016年1月14日－3月17日 全7回	17名

講師：藤田聖子(プロシンガー)

公演：Open Voice Day(無料体験レッスン)4月16日に開催、20名が参加。

クリスマス発表会12月17日に開催、100名を超える来場者があった。

日本語ボランティアの会新年会 1月 27 日

### ■水彩画レッスン

静物画や野外スケッチ、作品講評を中心に、初心者向けに実技を丁寧に指導。

受講人数：19 名

講師：森本太郎(美術作家)、渡邊義孝(尾道市立大学非常勤講師)、河原美由紀(画家)、岸成行(建築家)、原游(美術作家)

作品展：3月 4 日 - 9 日に受講生の作品をスコットホールギャラリーにて展示。

スケッチ合宿：3月 19 日 - 20 日はスケッチ合宿(於真鶴)を開催、受講生 19 名、講師 5 名、スタッフ 1 名の計 25 名が参加した。

### ■北田英治の写真講座

講評と屋外での撮影を中心に写真を撮ることと写真を創ることを学ぶ。

受講人数：7 名

講師：北田英治(写真家)

作品展：7 月・9 月・12 月・2 月に写真展「旅する写真展 vol.1 - vol.4」をスコットホールギャラリーで開催。

撮影合宿：11 月 23 日 - 24 日に撮影合宿(於四万温泉)を開催、受講生 7 名、講師 1 名、スタッフ 1 名の計 9 名が参加した。

### ■これでいいのか日本のキリスト教

教会の枠を超えて、日本・世界に関わる若いキリスト者の働き人の現場からのゲストスピーカーを招き、日本のキリスト教の現状について学ぶ。

第 1 回 9 月 12 日	3.11 を生きるキリスト教 佐藤真史(日本基督教団東北教区被災者支援センター専従者、いずみ愛泉教会副牧師)	15 名
第 2 回 11 月 7 日	学生 YMC A のいまから見えてくること 森小百合(学生 YMC A スタッフ)	20 名
第 3 回 1 月 23 日	野田沢(学生キリスト教友愛会主事、牧師)	18 名

### ■聖書講座

新しい聖書の学び『イエスの譬え話』に響く声ー福音書記者の編集や教会の伝統的な解釈にとらわれず、イエスが活動した時代の社会背景を踏まえ、イエスが語りかけた貧しいガリラヤの農民たちの視点から譬え話に込められたメッセージを聞く。

開講日：毎月第2火曜、全10回

受講者：のべ29名、平均16.5名

講師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

### ■連続講座「今だから知りたいイスラームと世界の動き」

ゆるやかにつながる様々な切り口から多角的にイスラームを考える全5回の連続講座を開催、第5回目はモスクを訪問した。

第1回 7月13日	「はじめて学ぶイスラーム～ムハンマドの生涯とイスラームの教え」 吉村武典(早稲田大学イスラーム地域研究機構次席研究員・研究員講師)	48名
第2回 7月27日	「イスラームとテロリズム～クルアーンに見る「ジハード」と平和の捉え方」 奥田敦(慶應義塾大学総合政策学部教授)	43名
第3回 8月3日	「アラブの春・若者・詩～アラブ世界における若者の躍動とその後」 山本薫(東京外国語大学)	31名
第4回 8月22日	ハラール軽食&トーク「日本でムスリムを生きて～私たちの暮らしと想い～」 アザド ムンシ、スルタナ ムンシ(早稲田奉仕園ベンガル語講師)	24名
第5回 9月5日	フィールドワーク「東京ジャーミイ(モスク)に行ってみよう！～見て、聞いて、感じるイスラームの文化と平和へのメッセージ」 下山茂(東京ジャーミイ 広報・出版担当)	25名

## (4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

### ■友愛学舎

舎生数：2015年度は4年生3名(男子3名)、3年生4名(男子1名、女子3名)、2年生2名(女子2名)の在寮生に加え、新2年生1名、新1年生5名が入寮した。

活動：朝の会 学期期間中の月曜日から金曜日の7時から7時30分まで。聖書研究(ヨハネによる福音書)及び学生発表等を行った。月1回(原則第一金曜日)に早大YMCA信愛学舎の学生も共に礼拝をおこなった。

舎生会 原則毎月1回開催。

年間活動 入舎式とオリエンテーションキャンプ(2015年3月27日-28日)、卒舎式(2016年3月24日)のほか、Feel Japan 年中行事を楽しむ会の企画運営をした。また海外研修やボランティアの機会を提供し参加できるような環境を整え、沖縄フィールドワークや常総市水害ボランティア、ネパール震災支援カフェやワークキャンプにも積極的な参加が見られた。

協力スタッフ：早稲田教会伝道師の福山裕紀子先生にカウンセラーとして学生の相談・助言

を担っていただいた。また、朝の会の聖書研究は早稲田教会古賀博牧師、福山伝道師、東京平和教会大矢直人牧師に指導をいただいた。

### ■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。9月に春風学寮にて会合をもち、寮運営、プログラム等について情報交換をおこなった。現在、友愛学舎、早大YMC A信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、早大YMC A寮、一橋YMC A寮の9学寮が加盟。

事務局担当：友愛学舎

### ■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮であり、7名が在寮。フライデーナイトをはじめとし奉仕園プログラムを通じて 国際学舎・友愛学舎との連携を図った。

## (5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業（国際友愛学舎）

### ■国際友愛学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮 152室がほぼ満室であった。レジデントアシスタント(RA)がRAコミュニティールームに平日19時-21時まで常駐し、留学生の日常生活のサポートなどをはじめとし寮内での連携に努めてくれた。さまざまなトラブルがあったが早大留学センターと連携をし、確認をしながら対応できたことは今後の運営管理においても有意義なことであった。

国・地域別居住者数（合計271名、28の国と地域）

アメリカ	60	日本	4	ポーランド	2
中国	59	スイス	4	ブラジル	2
イギリス	35	スペイン	4	デンマーク	1
フランス	19	香港	4	イスラエル	1
台湾	11	シンガポール	4	チリ	1
韓国	11	ドイツ	2	チェコ	1
オーストラリア	10	スウェーデン	2	メキシコ	1
イタリア	10	オランダ	2	エストニア	1
カナダ	8	ニュージーランド	2		
ベルギー	8	トルコ	2		

### ■留学生健康相談室の運営

医師、保健師による健康カウンセリングを行う。必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めると共に、既往症のある学生の入寮に関して緊急時を含めて対応できるように大学とも連携を取り体制を確認した。

開室時間：毎週月曜日 13 時 - 15 時、毎週水曜日及び木曜日 13 時 30 分 - 17 時 30 分

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

### ■Friday・Night

寮生間の親睦をはかるパーティー。入寮の時期となる 4 月及び 9 月に開催、9 月は Japanese Night として友愛学舎がホストを務めた。各寮間の良きコミュニケーションの場となっている。

### ■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12 月 12 日に開催。交流パーティーのほか、グループや個人によるアトラクションを行った。

### ■第 12 回長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 22 名、RA2 名、スタッフ 2 名

期間：5 月 29 日 - 31 日

協力：早稲田大学 ICC、公益財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

### ■第 6 回富士山登頂旅行

東日本大震災支援活動と合同で実施。(東日本大震災被災者支援・復興支援活動参照)

### ■第 10 回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 18 名、スタッフ 2 名

期間：2 月 8 日 - 10 日

協力：早稲田大学 I C C、日本 Y M C A 同盟東山荘

内容：富士山麓散策、富士山周辺自然学習、郷土料理実習、小田原城・箱根の森美術館見学

### ■ホームビジット

ホームビジットプログラムは、早稲田奉仕園寮に居住している留学生に東京近郊の一般的な日本人家庭を訪問し、「普段着」の日本を知ってもらう機会としている。ホストファミリーの方々には留学生との交流を通して異文化・異世代体験をする良い機会となっている。ホストファミリーは、現在 14 組のファミリーに登録をいただいている。2006 年プログラム開始時より、今までに留学生のべ 293 名、131 ホストファミリーの参加となっている。

① 2015 年 6 月 1 日(月) - 7 月 5 日(日)留学生 14 名が 7 家庭を訪問

② 2015 年 10 月 26 日(月) - 12 月 6 日(日)留学生 18 名が 5 家庭を訪問

## 2. 収益事業

### (1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

#### ■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。また、日本基督教会館の耐震補強工事のため、作業用地として一部敷地を賃貸した。

#### ■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応を実施。

### (2) 会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

#### ■施設の貸与（会議室・ホール・ギャラリー）

下記のように備品・設備の改善を適宜おこった。

- ・会議室(101号室、100号室)、リバティーホールの床張替・壁塗装・壁紙の張替え
- ・リバティーホールの椅子の張替え、机の新調
- ・各ホールの防犯カメラ設置
- ・会議室の照明をLEDに交換
- ・スコットホールオルガンの位置移動
- ・各会議室にWi-Fiを設置

キリスト教会館耐震補強工事期間の6月から12月は、利用者に奉仕園内の他の会議室への誘導に努めた。お客様の理解もあり、混乱なくかつ収入面でも大きなマイナスにならなかったこと、また今後の会議室運営を見直す良き機会となった。

#### ■早稲田スコットホールギャラリー

ギャラリーは水彩画レッスン作品展・写真展などの企画展を数回開催するとともに、田中忠雄・渡辺禎御雄二人展を開催。オープンスペースとしてのさまざまな利用に対応できるスペースとして案内を心掛けた。

#### ■プログラム(協賛を含む)の開催

- ・スコットホール公開日(ガイドツアー実施) 10月25日 約60名参加
- ・チャリティ古本市  
第16回 5月1日 - 6月末  
89,943円をシャプラニール＝市民による海外協力の会「ネパール大地震・復興支援活動」に寄付  
第17回 10月15日 - 11月30日  
69,620円を認定NPOパレスチナ子どものキャンペーン「シリア難民のために」に寄付
- ・早稲田地球感謝祭実行委員会に会場提供

### 3. 公益目的事業・収益事業共通業務

#### ■広告・宣伝

財団ホームページは定期的な更新作業を行った。またセミナーハウスページのリニューアルを行った。「早稲田奉仕園スタッフのブログ」は2015年度を通じて49記事を掲載した。

#### ■施設管理

施設の主な補修等は次のとおり。

- ・3号館国際友愛学舎エレベーターの部品交換(2014年度支払と合わせ計170万円)
- ・5号館ベニンホフ記念館北側屋上防水補修(100万円)
- ・電話交換機更新・電話回線光導入工事(240万円：リースにて実施)

## 4. 法人事務

### ■財団会議

#### ① 理事会

第1回定時理事会(6月11日)

- 第1号議案 2014年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第2号議案 評議員・理事・監事人事の件
- 第3号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正の件
- 第4号議案 関係当事者取引の確認に関する件
- 第5号議案 スコットホール講堂内パイプオルガン設置の件
- 第6号議案 2015年度定時評議員会開催の件

みなし決議に関する理事会(7月7日)

- 第1号議案 理事長選任の件
- 第2号議案 専務理事選任の件
- 第3号議案 常任理事選任の件

第2回定時理事会(3月7日)

- 第1号議案 2016年度事業計画及収支予算の件
- 第2号議案 銀行借入の件
- 第3号議案 専務理事報酬の件
- 第4号議案 2015年度臨時評議員会開催の件

#### ② 評議員会

定時評議員会(6月25日)

- 第1号議案 2014年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第2号議案 評議員・理事・監事選任の件
- 第3号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正の件
- 第4号議案 専務理事報酬の件

臨時評議員会(3月17日)

- 第1号議案 銀行借入の件
- 第2号議案 専務理事報酬の件

報告 2015年度収支決算見込みについて、2016年度事業計画及び収支予算について

### ③ 常任理事会

第1回常任理事会(5月19日)

- 第1号議案 2014年度事業報告及び決算の件
- 第2号議案 評議員・理事・監事人事の件
- 第3号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正の件
- 第4号議案 理事の利益相反取引の確認に関する件
- 第5号議案 スコットホール講堂内パイプオルガン設置の件
- 第6号議案 嘱託職員採用の件
- 第7号議案 2015年度第1回定時理事会及び定時評議員会開催の件

第2回常任理事会(7月22日)

- 第1号議案 今後の事業運営について

第3回常任理事会(10月19日)

- 第1号議案 ベニンホフ記念館(5号館)改修について
- 第2号議案 キリスト教学生センター構築について
- 第3号議案 スコットホールパイプオルガン設置について
- 第4号議案 建物長期修繕計画について
- 第5号議案 職員超過勤務時間の扱いについて
- 第6号議案 評議員・理事・監事懇談会の開催について

第4回常任理事会(2月25日)

- 第1号議案 2016年度事業計画及び収支予算案に関する件
- 第2号議案 固定資産の取得に関する件
- 第3号議案 銀行借入に関する件
- 第4号議案 専務理事報酬に関する件
- 第5号議案 2015年第2回定時理事会及び第1回臨時評議員会の開催に関する件

### ④ 評議員・理事・監事懇談会

評議員・理事・監事懇談会(11月26日)

1. 2015年度上半期報告
2. 早稲田奉仕園の活動について

### ■ 監査

監事監査 5月19日、11月18日

監査法人監査 4月2日、5月18日 - 19日、11月18日

## ■登記

5月14日付 監事の抹消

8月11日付 評議員・理事・監事の就任、重任及び抹消

## ■行政庁(内閣府)諸届

6月4日付 監事変更届け提出

6月30日 2014年度事業報告等の提出

8月25日付 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程変更届け提出

8月26日付 同上修正提出

8月27日付 評議員・理事・監事変更届け提出

3月23日付 2016年度事業計画書等の提出

## ■役員等人事

### ① 評議員(6月25日付)

- ・石川良一、茨木龍芳、大矢直人、黒住直、佐々木裕康、名取智子、李明生(以上重任)
- ・有田大輔、大江浩、根本進、原真由美、土方恭子、吉岡康子(以上新任)
- ・梅沢良雄、泉谷五十鈴、石塚多美子、土屋忍、横山勝常、松田智樹(以上任期満了にて退任)

### ② 理事(6月25日付)

- ・奥島孝康、相賀昇、稲垣隆一、大橋正明、鎌田薫、古賀博、吉田博(以上重任)
- ・土屋忍、森田典正、阿部千秋(以上新任)
- ・内田勝一、大山和定、丹野真人(以上任期満了にて退任)
- ・理事長(代表理事) 奥島孝康(重任)、専務理事 吉田博(重任)、常任理事 大橋正明、古賀博(以上重任)、相賀昇(新任)、以上7月7日付

### ③ 監事(6月25日付)

- ・金子博(重任)、宮坂正寛(新任)
- ・前田隆士(4月17日逝去にて退任)

## ■職員人事

- ・保田諭子(嘱託職員採用、7月1日付)
- ・海野牧人(嘱託職員採用、10月1日付)
- ・茂木麻美(正職員退職、7月31日付)

## ■定款及び諸規程

- ・「役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程」第2条及び第3条の変更(6月25日施行)

## ■財団広報

奉仕園通信は年2回の発行を予定していたが、71号(10月1日)のみとなり、72号は2016年4月15日に発行された。財団ホームページは定期的な更新作業のほか、「早稲田奉仕園スタッフのブログ」49記事を掲載した。

## ■早稲田奉仕園賛助会員

2015年度は個人113名、法人1団体に加入いただいた。

## ■奉仕園ホームカミングデー

10月25日に奉仕園OB OG、友愛舎生、スタッフ等81名が参加して開催、友愛OB野木虔一牧師のメッセージによる礼拝及び奉仕園の現在の活動について紹介をした。その後、友愛学舎OB会が開かれ43名が出席された。

## ■キリスト教施設長会

日本バプテスト連盟天城山荘を会場に1月26日から28日開催、吉田専務理事が出席した。

## ■国際協力NGOセンター(JANIC)公益法人に関する連絡会

定例会：4月24日(於奉仕園)、7月30日(於奉仕園)、10月29日(於奉仕園)、1月18日(於奉仕園)

---

2015年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

2016年5月 公益財団法人 早稲田奉仕園